

本時のポイント	導入に、サグラダ・ファミリアについて紹介する動画を視聴することで、生徒の驚きと疑問を引き出し、本時に主体的に取り組めるようにする。
---------	---

- 1 主題名 サグラダ・ファミリア ～受け継がれていく思い～ D（21）感動、畏敬の念
C（18）国際理解、国際貢献

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

- ・美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。
- ・中学生になると素晴らしい自然の美や芸術の美しさにふれ、豊かな情操や感受性が芽生えてくる。本教材を扱うことで、サグラダ・ファミリア建設に携わった人たちの思いを通して、時を超えてつながる人間の思いに対する感動や畏敬の念を感じ取る心情を育みたいと考え、本主題を設定した。

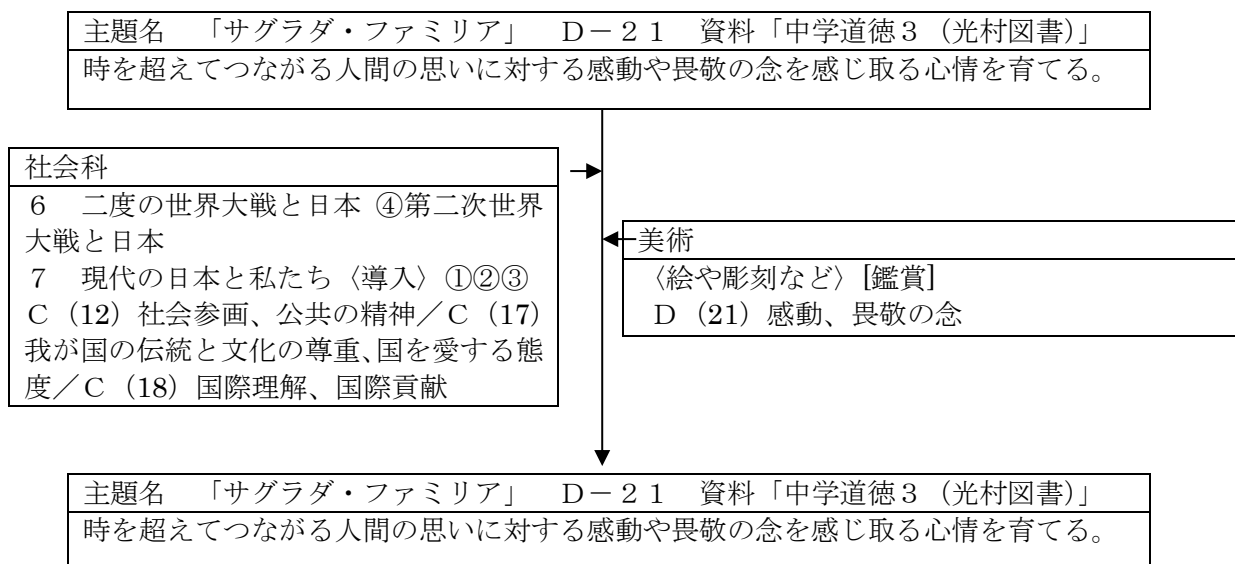
（2）生徒の実態について

- ・第3学年1組（男子5名 女子1名 計6名）の生徒は、道徳の授業に一生懸命に取り組む姿勢が見られる。人物の心情を読み取ろうとする姿勢や、自分の考えを発表したり、記述したりすることに対して真剣に取り組む様子が見られる。また、芸術に対して高い関心を持ち、学級目標の看板づくりにおいてもグラデーションや色相環などを意識して作成している。さらに学級活動における行事についての話し合い活動では、中里の伝統を大切にしたいという意見が出ることも多い。

（3）教材について

- ・「サグラダ・ファミリア ～受け継がれていく思い」は2部構成になっている。第1部では、生涯をかけてサグラダ・ファミリア建設に取り組み、完成を未来に託したガウディの思いに、第2部では、その建設を引き継いで彫刻の一部に取り組む外尾さんの思いに寄り添うことから、「時を超えて受け継がれていく思い」について広く深く考えさせたい。

3 他の教育活動との関わり



4 指導観

本時の授業では、対話的な学びをすることで、時を超えて受け継がれていく思いについて多面的、多角的にグループで考えさせることによって自分とは異なる意見に気付けるようにしたい。

5 本時の指導

- （1）ねらい ・時を超えてつながる人間の思いに対する感動や畏敬の念を感じ取る心情を育てる。
- （2）準備・資料
- ・PC ・プロジェクター ・DVD-ROM ・場面絵

(3) 展開 (個)：個に応じた支援 (情)：情報活用能力を育成するための支援 (評)：評価

	主な活動と発問	予想される生徒の反応	教師の支援・評価
導入	1 動画を視聴することでサグラダ・ファミリアについて知る。 ○「サグラダ・ファミリアは、1882年に建設が始まりましたが、まだ工事が続いています。それを知ってどんなことを思いましたか。」 時を超えてつなげる想いを見つめよう。	・設計者がいないのに、どうやって建設を進めているのだろう。	(情) 指定されたサグラダ・ファミリアの動画を検索し、視聴することで生徒の感想を引き出す。
展開	2 教材を読んで考える。 対話的な学び ○ガウディはどうして「必ず、後を引き継ぐ者たちが現れ、より壮麗に命を吹き込んでくれる。」と考えることができたのでしょうか。 ○外尾さんが考える「永遠の命」とは、どのようなものなのでしょう。 対話的な学び ◎あなたは、「永遠に続いていくものに心で連なっていく」とは、どんなことだと思ったでしょう。 対話的な学び ○時を超えてつなげる想いについてどんなことを感じましたか。	・サグラダ・ファミリアが素晴らしい建築物であることを自負していたから。 ・自分が携わる建築の仕事にプライドをもっていたから。 ・自分の命には限りがあり、完成には相当な時間を費やすことを理解していたから。 ・多くの人の手によって作られ、人間の一生を超えて存在するもの。 ・サグラダ・ファミリアに関わる全ての人々の思いが時代を超えてつながっているもの。 ・(外尾さんの立場から) 自分の存在はなくなっても、自分の作ったものと思いは残っていくということ。 ・(道徳的価値について) サグラダ・ファミリアの壮大さに感動した思いがきっかけで、自分もその1部を作ることになったということ。 ・(自分との関わりから) 人の歴史や伝統文化も同じだと思った。 ・人間の体には寿命があるけど、思いは人に受け継がれてずっと残るんだなあと思った。 【目標を達成した生徒の姿】 ・話し合い活動に参加し、他者の考え方や議論に触れている。 ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させた自分の考えを書いている。	・自分が生きている間に完成することがないと分かっているのに、未来の完成を願って設計図や模型を作って準備をしていたガウディの思いを考えさせる。 ・人間の命の有限性やサグラダ・ファミリアの永遠性に思いを馳せる外尾さんの気持ちを想像させ、「時を超えてつなげる思い」を捉えさせることで、次の発問を考えやすくする。 ・時を超えて続いていくものには、物質的なものだけではなく精神的なものもあり、連綿と続く思いについて、対話によって理解を深めさせる。 (個) 生徒から多様な意見が出づらいう場合は、自分がすごいなと心動かされたところを発表させていく。そこから「永遠」「時」「心」などキーワードにつなげていく。 ・まとめとして、生徒の状況に応じて、「考えよう」に立ち返って考 (評) 外尾さんの思いにふれたり、話し合いをしたりすることで、美しいものや気高いものに深く心が動くことについて、さまざまな角度から考えようとしているか。(観察・ポートフォリオ)
終末	3 ポートフォリオに記入する。 今日の授業を振り返って感じたことや考えたことをポートフォリオに記入する。		・授業で学んだことや、感じた事などを、一言記述するように促す。